

✿中学3年生 修学旅行に行ってきました②✿

10月26～30日に行われた、九州への修学旅行について生徒の感想をご紹介します。第2弾の今回は修学旅行を通して得た経験を、今後に生かしていくためにという観点から考えました。

AFTER THE TRIP...

✿自分がこれから伸ばしていきたいこと、そのためにやってみたいことはなんですか？

今回の修学旅行を通して、APUでは、「自分の夢につながるステップを考える」ことが大切だと感じた。その中で沢山の人たちとコミュニケーションをとることが一番重要だと思ったので、これからはどんどん新しい出会いを作り、自分の夢を実現させるために必要な引き出しを作っていきたい。

平和学習では、池田さんのお話を聞き、勉強したくてもできなかった小学生たちに比べると私は恵まれていて、平和な世界で家族全員と毎日夜ご飯を食べ、学校に行き勉強できるという立場にいるなかで私にできることは、誰よりも勉強し、誰よりも沢山の経験を経験することだと感じた。また、自主行動では他人に対する優しさの大切さを学び、私も彼らみたいな大きな心の持ち主になりたいと思った。

平和学習は本当に心に残っていて、その中でもフィールドワークの担当の方が、「今のうちにお母さんから料理を学んで、お母さんの味を覚えておきなさい。」とおっしゃいました。私はこの言葉を胸に留めておこう、と思いました。「お母さんの味をいつでも作れたら、どんなつらいことも乗り越えられる。」まさにその通りだと思います。帰ったらすぐ、お母さんに料理を聞こうと思いました。

1日目・2日目のAPUでは“Don't be shy!” “Mistakes are OK!” をモットーとし、活動した。ここでは「失敗を恐れずに積極的に英語を話し、他の人と意見交換をする」「自分と違う考えでもそれを受け入れ、そこから学ぶ」などの事を学ぶことができた。3日目の平和学習で「家族の大切さ」を改めて実感した。4日目の自主行動では、鎌倉では先生に聞いていたところを地元の方々に聞き、地元の方々とコミュニケーションがとれ、人々の優しさに触れることができた。中2のUSAキャンプで学んでいたと思っていた事が実践できてないことが今回のAPUの学習で分かったので、英語をもっと勉強し、いつか東京や神奈川に旅行に来た外国人の人に道を聞かれたら、積極的に答えられるようになりたい。



- APUで学んだことを通して、世界中の異文化を理解し、受け入れ、1つになるにはどうすればよいかを考え、そのためにもまずは、英語でたくさんの人々とコミュニケーションをとれるように頑張ろうと思います。
- 平和学習を通じて「日本の平和について深く考えようと思うようになりました。戦争の恐ろしさを知り、これから「平和な世界」を築くために後世に語り継いでいくべきだと考えました。

- 英語力

英語は世界中で通用する言語だと思うので、もっと勉強して英語力を向上させたいです。

- 思考力・発信力

自分自身で様々なことを考え、それを発表、発信する力が必要だなと感じました。世界の出来事に興味を持ち、それについて考える習慣をつけたいです。また、機会があるときに自分の考えを共有し、他の人の考えも知るということをやりたいです。

- 昔のことを学び、これからは活かす

今回の被爆者の方々からのお話をきいて、私は原爆について知っているつもりではいたけれど、知らないこともたくさんあることを痛感しました。また、被爆者の方々のお話をきける世代は私たちが最後だと思うので、そのお話を次の世代に語り継がないといけなと思いました。そして私たちは歴史を学んで、それを未来に活かし、世界中で協力すべきだと思いました。

APU、平和学習、自主行動のすべて共通で感じられたのは、流されず、自分の意見をしっかり主張することが“大切”ということでした。自分は割としっかり自分の考えを言おうと思っているがやはり完全には実行出来ないと思うので、これからも伸ばしていきたいと思う。しかしそれだけだとただ主張するだけなので、人と話すときは相手の意見を聞き、それをふまえた上でベストな案を提案するというスキルを磨いていくことが出来るようにこれからも努力していきたいと思う。

